

横田基地問題を考える会

ニュース NO. 14

連絡先

電話&FAX 0428-22-6273

ホームページ アドレス

yokota-peace.sunnyday.jp



行進に反対する住民の前を、小銃を携帯した強物服隊で通り過ぎる陸上自衛隊員
Photo By 共同

6・12

陸自レンジャー 「行軍」事件

— 58日間の闘い —

練馬平和委員会 坂本 茂

4月19日、6月12日の真昼に陸自レンジャー訓練が実施されるといふ情報が舞い込んだ。板橋区戸田緑道公園の河川敷に大型ヘリコプターで舞い降りたレンジャー学生（第一普通科連隊など隊員）30名が、雑踏の駅前や商店街を警察も同行しないで練馬駐屯地まで約7キロの「行軍」である。しかも小銃や銃剣を携帯するという。

私たち平和委員会が持っているレンジャーに関する資料を収集した。次に7キロの全ルートを歩き商店街など街の声、全国各地のレ

ンジャー「行軍」や駅前の風景の写真収集、練馬駐屯地交渉で得た情報をもとに啓発ピラを普通の主婦の知恵を借りて大急ぎでつくった。レンジャー行軍のルートを変えさせた石川県内灘町の経験から学び、社民党町議の協力は、自治労練馬区職労の防衛省などへの抗議FAXや当日の監視活動にまで発展した。ネットやメールによる情報の共有、特に練馬区役所には足を使いた。さらに、国会・防衛省・光が丘警察・板橋区・練馬区交渉を連日続けた。

最後の1週間で、東京地裁へ陸自レンジャー行進の禁止を求める仮処分申請裁判闘争、6月5日司法記者クラブで記者会見、朝日・東京新聞やTBSなどマスコミ10数社が取材した。6月6日、練馬駐屯地の最寄の東武練馬駅では700枚以上のピラを陸自隊員などが受け取った。6月6日から3日間開催された異例

な陸自による住民説明会に150名が参加した。説明会では商店街はルートから外すと報告された。

当日。陸自はヘリコプター降着を断念、警察の誘導による異例な陸自レンジャー行軍、隊列は2隊から6隊へ少人数にわけ安全面において大きく前進した。裁判闘争の影響だ。次にThe Japan Time sなどマスコミ13社が新聞でテレビはNHK・TBSなど4社が報じた。

来年は二度とレンジャー「行軍」を実施させない闘いを展開したい。



(学習会)

「自衛隊横田基地とは何か？」に多数参加

＝半田滋さんの講演要旨＝

4月28日の横田基地もいらない市民交流集会実行委主催の学習・意見交換会には68名の参加がありました。

第一部学習会「自衛隊横田基地の新設で横田はどうかわるか」での東京新聞論説委員半田滋さんの講演は、

①「自衛隊横田基地」の開所式で公開された地下室の「統合運用調整所」は、ただ机と椅子だけの「限りなくこの部屋に近い」部屋で、大型のスクリーンもなく、米軍と自衛隊の指揮担当官が顔を合わせて話し合うためのもの。

こんな「統合運用調整所」に大金をかけたのは、日米一体化のシンボル作りすぎなかつたといえる。

②米国のハドソン研究所の調査では「横田基地は現在の米軍の使用目的からは



面積が多すぎる」という結果になったが、「自衛隊横田基地」の併設で、基地の返還は遠のいた。

などという大変刺激的なもので、この講演についてさらに理解を深めるため、今度私たちが「考える会」の主催で、7月21日に「もう一度半田さんの話を聞く」学習講演会を開くことにしました。

第二部意見交換会では18人が「市民一人ひとりが自分の考えで参加していく運動づくりが大切」など今後の横田基地撤去運動が取り組むべき重点について、活発な話し合が行われました。

航空空総隊司令部移転後の府中基地はどうなっているか？

「沖縄と連帯する府中の会」と2度目の話し合い

5月9日に、去年の7月以来10ヶ月振りに「沖縄県民と連帯する府中の会」の人たちと、航空総隊司令部移転後の府中基地の現状について、懇談してきました。

府中側からは岡田会長、新原副会長、鈴木事務局長に女性の方などの四人、こちらからは折井、井出、盛岡の世話人の三人です。情報によれば、

(1)新設の空自横田基地には、府中から航空総隊司令部、作戦情報隊、防空指揮群が移転して、航空氣象群横田地方警務隊が「新編」され

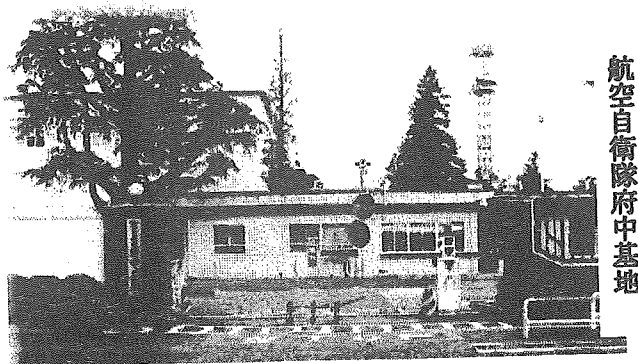
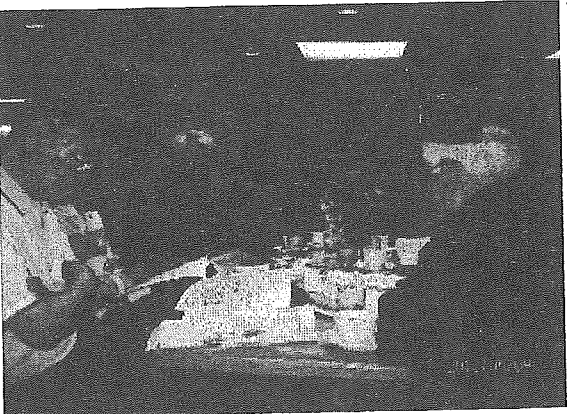
(2)府中基地には航空支援集団司令部、航空氣象群本部、氣象業務隊、氣象通信隊、航空保安管制群飛行情報隊などが残って業務中とされています。

問題なのは、府中基地の方の「航空氣象群本部、氣象業務隊、氣象通信隊」で、航空総隊司令部の横田移転前の発表では、府中基地には単純に「航空氣象群」があるとされていたのに、今は、わざわざ「航空氣象群本部、氣象業務隊、氣象通信隊」の三つがあるとされていることです。

これらは、みんな「航空氣象群」の構成部分に過ぎないのに、わざわざこの三つを並べ立てているのは、移転後、ガラガラになった府中基地の建物を、今でも全部使っているかのよう

見せるためではないのかという疑問が湧いてきます。もしそうなら、そんな無駄はやめて、不要の建物を整理し、余った敷地は早く地元に返還させる必要がある。いずれにしても、今年もまた、府中基地に行つて、説明を求めてみよう、そして、府中で「いま、府中基地を考える」というような学習会をもつたらどうだろうと話し合いました。

次回は、この具体化の話し合いをする予定です。(盛岡暲道)



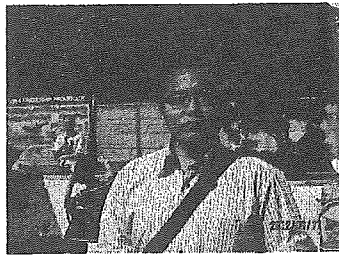
航空自衛隊府中基地

原子力空母ジョージ・ワシントン艦載機の厚木飛行場での連続離着陸訓練

先日(平成24年5月23日)、座間基地ゲート前の座り込み場所へ急いでいると上空がいやに騒がしい。このようにに耳を塞ぎたくなるような爆音は初めてである。座り込み場所では既に役所等へ抗議をしたり、状況を調査したりした人がいた。彼女の調査によるとこの爆音

<会員インタビュー>

内野 なおき さん
(武蔵村山市)



～生活に困ったら、早く相談して下さい～

前回の選挙で市議員になりました。岩国で米軍機が低空飛行をしている実態を視察に行くことになり、その事前学習で高橋さん(前羽村市議)を講師にして、横田基地の実情を知りました。私は生まれた時から基地があり、それに矛盾を感じませんでした。基地の存在に疑問を持った人がいるのを見て…おかしいと感じ始めました。今は、横田基地が日本の防衛に役立っているのか?疑問を感じています。

議員生活は想像以上に忙しい。一番多いのは生活相談です。武蔵村山は三多摩の中でも貧しい人が多い市だと感じています。

以前、医療機関にいましたが、議員は病院での相談以外の問題にも関わりますので…。それと、相談者は待ってくれません。

困っている人は一杯います。解決の方法を知らない人がほとんどです。困った場合は早く相談して欲しい。早ければ早いほど、解決し易いのですから。(文責 岩田)



の正体は原子力空母ジョージ・ワシントンの艦載機である電子戦闘攻撃機F/A18グラウラー「唸る奴」(写真)であり、六機が厚木基地の滑走路を艦の甲板に見立てての連続離着陸訓練であった。ふざけた話である。報道によると、厚木爆同の抗議に対してグレッグ・クンツ広報部長(51歳)は「近隣住民の心配は承知している。急ぎよ、NLPを実施することになり、遺憾に思っているが、部隊の

運用のため必要な訓練なので理解してほしい」と話した。何を理解せよと言うのか、君たちのやりたい放題をか。君達は米国の住宅地の上空でもこのような訓練をするのか。市民の抗議に對して同様の台詞で対応するのか。ハワイではオスプレイ配備のための環境アセスメントでコウモリの生態にまで心をくだくのには日本では市民に対してこのような無神経な爆音を吐き出し「必要な訓練であるので理

解して欲しい」の一言で済ませようというのか。日本が沖繩化されていく。私達が沖繩を日本化する前に米軍は日本を沖繩化していく。「藤沢、茅ヶ崎市などを含め神奈川県内の広範囲で空を切り裂くようなジェット機の爆音が響いたと報告されている。「ここは一体どここの国なんだ」「沖繩だけでなく、ここもひどい」。各市などに住民から殺到した苦情は少なくとも1500件を超えたらしい。「タッチ・アンド・ゴー」は

数十秒から数分の間隔で繰り返された。午後9時59分まで続いた訓練に、大和市内では一時、乗用車の警笛に例えられる110デシベルを大きく超える115.9デシベルを計測された。今回の市民から放たれた苦情の件数は「もう我慢ができない」という意思表示であらう。一日中継続されたこの訓練には周辺住民は相応の苛立ちをみせた。普天間、嘉手納ではこの情態は恒常的に繰り広げられている。普天間飛行場の滑走路と金網一つで区切られた小学校は毎秒毎秒が危険に晒され、爆音に悩まされている。この上に世界一危険といわれるオスプレイの配備などは論外であらう。7月に予定されている12機の配備は私達の連帯で辞めさせなければならぬ。興奮冷めやらぬ気持ちで原子力空母G Wの艦載機である電子戦闘攻撃機F/A18グラウラー「唸る奴」六機のタッチ・アンド・ゴー訓練のレポートでした。(言久亮輔)

〈どの時間帯の飛行が多いか〉

横田基地飛行回数調査

聖島市立伊島第二小学校

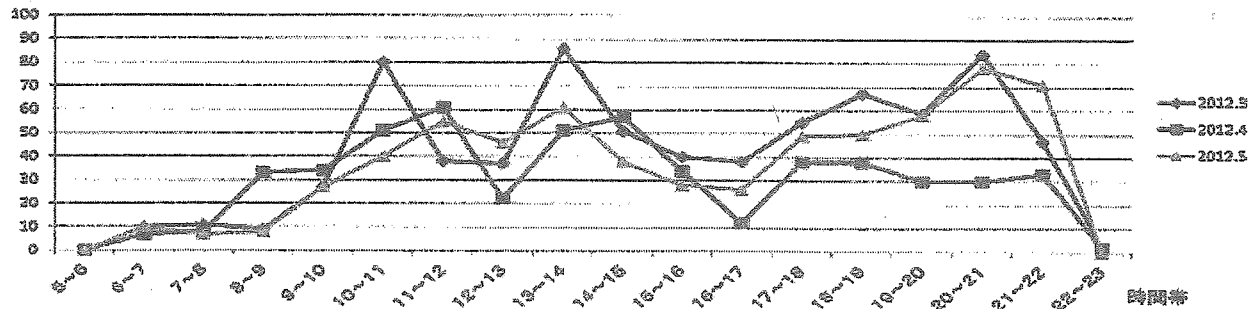
時間帯別の飛行回数・月間飛行回数の推移

(2012.3~2012.5)

年月	5~6	6~7	7~8	8~9	9~10	10~11	11~12	12~13	13~14	14~15	15~16	16~17	17~18	18~19	19~20	20~21	21~22	22~23	合計
2012.3	0	10	11	9	27	60	38	37	86	51	40	38	55	67	59	64	47	2	741
2012.4	0	7	8	33	34	51	61	22	51	57	34	12	38	38	30	30	33	2	541
2012.5	0	10	7	8	27	40	55	48	61	39	28	28	49	50	58	78	71	0	952

飛行回数

時間帯別飛行回数



C-130 ハーキュリーズ



相変わらず、①午前10時
②午後1時〜3時
③午後8時〜9時の三つの時
間帯に飛行が集中している
一方、午後10時〜翌朝6時
には殆ど飛んでいないとい
う傾向が続いています。
しかし、夜間飛行が少な
いことに安心して、これら
の三つの飛行時間帯の飛行
が、どれも横田配備の4発
プロペラ輸送機C130ハー
キュリーズの住宅街上の危
険な低空旋回訓練飛行であ
り、この訓練飛行に慣れて
その大きな危険を忘れてし
まってはなりません。
一刻も早く、この危険飛行
をやめさせる運動が必要だ
と思います。
(盛岡)

時間帯別飛行回数
について

〈会費納入のお願い〉

この四月で、会が発足して五年目に入ります。学習会や調査活動、ニュースやパンフレットの発行、「横田基地もいらない！市民交流集会」への参加などの活動を続けていますが、そのためには活動資金が必要です。

今年度は発足の際に、平和基金から借入した百万円を全額返済しますので、自立した財政を確保しなければなりません。

前号のニュースでお知らせしたように、会費は一口 五百円、口数は任意と改正されました。皆様のご協力をお願い致します。

納入方法

①ゆうちょ銀行振替口座 (同封の用紙を使えば手数料は会負担です。)

00150-5-318061

②ゆうちょ銀行口座への振込 (ゆうちょ銀行の貯金通帳からは無料で送金できます)

記号—10170 番号—93828331

③直接、役員に手渡して下さい結構です。